

Ⅱ【横浜国立大学教育学会第4回大会記録】

2016年3月30日

横浜国立大学教育人間科学部7号館

【1】 個人発表一覧

- [1] レッジョ・エミリア・アプローチを実践する幼児教育の研究
—創造性の育成と地域連携に着目して—
(横浜国立大学大学院) 高橋里帆
- [2] 家庭の教育機能の変化とモンテッソーリ教育再導入
—平塚益徳を手掛かりにして—
(鶴川女子短期大学) 竹田 恵
- [3] 初等教育におけるアクティブ・ラーニングの検討
—対話活動を通じた児童の学習方略の分析から—
(横浜国立大学大学院・桐蔭学園小学部) 菅井篤
- [4] 体づくり運動の授業の検討
(横浜国立大学学部生) 鈴木亜美
- [5] 学校外運動に関する研究
—子どもと保護者のかかわりに着目して—
(横浜国立大学大学院・横浜国立大学附属鎌倉小学校) 矢邊洋和
(横浜国立大学) 梅澤秋久
- [6] 英語ライティング学習による日本語作文能力への影響
(横浜国立大学学部生) 齋藤大貴
- [7] 教育実習経験後の進路認識変化
(横浜国立大学大学院) 有村勇紀
- [8] 理科学習におけるメタモデリングの機能に関する研究
—高等学校化学無機物質分野における事例的分析—
(横浜国立大学大学院) 一ノ瀬友輝
(横浜国立大学) 和田一郎
(神奈川県立菅高等学校) 平瀬健太郎
(横浜国立大学) 森本信也
- [9] 社会的文脈における学習の調整を通じた子どもの科学概念
構築過程に関する研究
(横浜国立大学大学院) 本間峻太
(横浜国立大学) 和田一郎
(東京学芸大学連合大学院) 長沼武志
(横浜国立大学) 森本信也
- [10] 対話的な授業で表現された小学校第1学年の子どもの動物概念
(東京学芸大学連合大学院・動物教材研究所 pocket) 松本朱実
(横浜国立大学) 森本信也
- [11] 理科教育入門期における指導と評価の視点
(横浜国立大学大学院) 田代晴子
(横浜国立大学) 森本信也
(横浜国立大学附属横浜小学校) 齊藤 武

[12] 足場はずしによるセルフ・コンセプトの構築を促す理科授業デザインに関する研究
(東京学芸大学連合大学院) 長沼武志
(横浜国立大学) 森本信也

[13] 科学概念の表象と組織化を促す指導方略に関する研究
(東京学芸大学連合大学院) 野原博人
(横浜国立大学) 森本信也

[14] 20世紀初頭横浜金沢の地域社会と小学校
—久良岐郡六浦荘村立三分小学校校長平田恒吉に着目して—
(横浜国立大学大学院) 真辺 駿

【2】講演会

[1] 近代日本教育の出発点
—『小学読本』の冒頭教材を検討する—
(横浜国立大学名誉教授) 府川 源一郎

【講演会記録】

近代日本教育の出発点

— 「小学読本」の冒頭教材の検討を通して —

府川 源一郎(横浜国立大学名誉教授)

はじめに

大戸先生から、講演記録を文章化するという依頼がありました。昨年3月に講演をお引き受けした際に、そんなこともお願いされていたような気がするのですが、ついうっかりして音声記録を取らないままでした。当日の講演は、以下のスライドをもとに行いましたので、それを紙面でも見やすいようにことばを加えたものをお示しすることで責めを果たそうと思います。

問題の出発点としての『小学読本』



初版本・明治6年3月



見返し・大改正本

テキスト検討の基本的な観点

1. テキストの位置(性格)の認定
時代状況→通史的に見る。海外の状況との関係。
社会状況→誰が、いつ、何のために、どのように。
2. テキストそのものの検討
(1)内容的側面の検討
何が書いてあるか。 素材・題材・対象
(2)形式的側面の検討
どのように書いてあるか。表現様式・語彙・文体・字体
3. テキストがどのように流通・使用されたかの検討
著者・絵師・出版元(製造元)・整版・製本形態・紙質・判型・流通・販売・購入

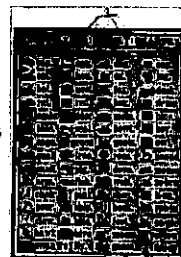
1972(明治5)年「学制」



年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1872	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1873	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1874	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1875	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1876	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1877	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1878	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1879	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1880	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1881	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1882	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1883	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1884	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1885	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1886	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1887	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1888	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1889	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1890	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1891	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1892	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1893	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1894	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1895	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1896	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1897	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1898	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1899	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1900	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

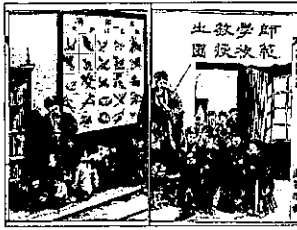
海外教科書による翻訳教育

- 欧米の模倣から出発
上からの急速な近代化
欧米教育制度の移入
「小学教則」→翻訳教科書の使用
和算/洋算 日本画/洋画 筆
/鉛筆 和紙/洋紙 科学(算理学)→洋才 西洋道徳(新しいモラル)→努力・出世
- 外国の教科書が翻訳されて教材として使われた
チャート(掛図)→『単語図』



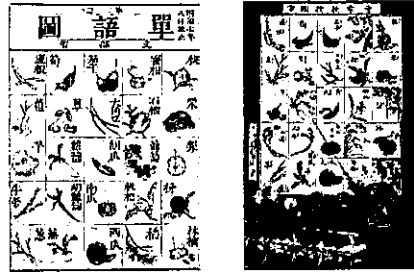
近代の一斉授業の成立

「単語図」を使用した授業風景
 アメリカ式教授方法の直輸入→「学校式」の机や椅子の配置
 銅版画・遠近法の導入・鮮明な発色の輸入染料の使用



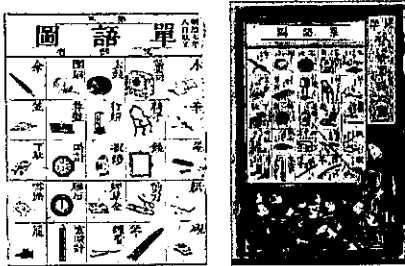
『師範学校改正小学教授方法』明治9年 青木輔清・東生亀次郎

「単語図」の受け止め方(1)
 宜版単語図と庶民のおもちゃ絵(平易な言葉へ転換)



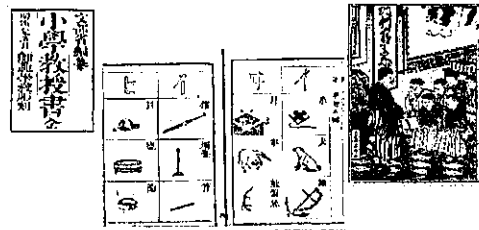
蘿蔔(らぶく)・大根へ 南瓜・カボチャへ

「単語図」の受け止め方(2)
 宜版単語図と庶民のおもちゃ絵(変体仮名による意味の添加)



本ももものはなしあり 筆しよえをか

単語図の教科書版
 『小学教授書』『小学入門』などの冊子形態の教科書
 →個別の学習・持ち歩きが可能
 →教師用の可能性も



翻刻(履刻)によって全国的な普及を図る
 地域の出版インフラが活用された
 近世地域出版研究との連携の必要性



様々な小学読本(1)『小学読本』
 活字版 M10・鳥取県
 鑄造された活字は、近代的な意識(均質性・同一性)を
 育てるインフラの一つ

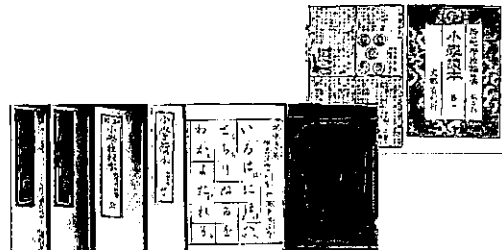


様々な小学読本(2)

洋装版『小学読本』

ボール表紙・銅版刷り
 洋紙・両面刷り・糸綴じ・
 中本
 橘爪實一蔵版
 明治9年刊

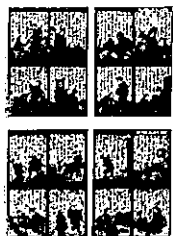
様々な小学読本(3)『小学読本』
 袖珍版(しゅうちんぱん)



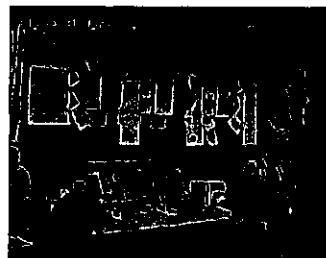
銅版印刷・仮名付き



様々な小学読本(4)
おもちゃ絵「小学読本」
美濃判1/4 歌川芳藤画
変体仮名の方が庶民には
身近だった



絵双紙屋店頭風景 明治20年頃
「長崎大学 幕末・明治期日本古写真メタデータ・データ
ベース」より
学校外でのリテラシー形成の「場」の重要性



話題を「五人種」に絞って
↓『小学読本』(1873明治6年)田中義廉編の冒頭

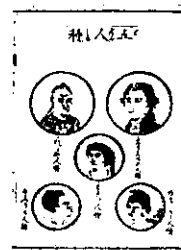


両者はよく似ている



『西洋事情・初編』(1866慶応2年)福沢諭吉の扉表

↓『絵入り智慧ノ環』明治3年 古川正雄



両者もよく似ている



『地学事始』明治3年 松山操庵个

↓『小学地理問答』明治7年 阿部素蔵



両者もよく似ている



『世界風俗往來』明治5年 荻陽陳人个

↓『西洋新書』明治5年 (瓜生政和)梅亭金鷲



両者は若干似ている



『地理物語』明治6年 東瀛樓主人个

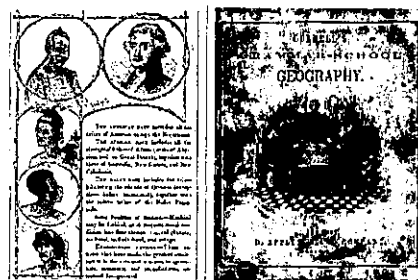
左 Cornell's Grammer-school Geography revised ed 1867年



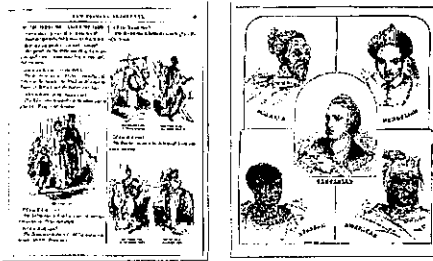
右 Cornell's High school Geography 1856年



Cornell's Grammer-school Geography 1866年
から『小学読本』は、図版を導入



左 Mitchell New Primary Geography 五人種
右 Mitchell Modern Geography 五人種



23

『内外事情』明治6年
東生亀次郎



『世界婦女往来』明治6年



五人種図は当時流行していた

「世界五種人民の図」



23

欧化的教育に対する反発(1)
『小学勸善読本』(五神種)の図柄



富岡貴林著 明治7年

24

欧化的教育に対する反発(2)
『首書絵入世界都路』の(世界vs日本)の口絵
仮名垣魯文著 河鍋暁斎画



「地球上五人種」の図 朝日 鬼(日本)vs親(欧米)

『小学読本』の冒頭教材の検討から

- 『小学読本』の冒頭の図の原拠は、Cornell's Grammar-school Geography だった。
- 当時「五人種」の図版は、文明開化の広告塔として啓蒙書などに氾濫していた。
- 同じ「五人種」のアイデアを採用して、反文明開化の主張をした書物もあった。
- それらの啓蒙書は、教科書としても使われた。(あるいは使われることを想定して作られた。) • 反文明開化書の図像と「小学読本」の図像とは、一見相反する方向を持っていたようにも見える。
- しかし、欧米列強に対抗して日本を近代国家として進展させようという点では同じだった。明治の教育は、国家規模で「脱亜入欧」「富国強兵」を展開するための装置だった。
- 『小学読本』の「五人種」の教材はそうした意図を象徴的に表しているとも考えられる。
- ここまで、日本近代教育が始まった当初の『小学読本』をめぐる様相と、田中義廉の編集した『小学読本』の冒頭ページの図版のみを対象に検討してきた。
- 詳しくは、府川源一著『明治初等国語教科書と子ども読み物に関する研究—リテラシー形成メディアの教育文化史』ひつじ書房 2014年2月、を参照されたい。